

まちづくり研修事業

南富良野町の未来に向けて、個性豊かで活力あるまちづくりを推進するために行われている、「まちづくり研修事業」を活用し、昨年9月22日から25日までの4日間、南富良野介護研究会（幾寅）の石川律子さんを代表とする3名（石川律子、中澤孝則、吉田昭子）が岩手県盛岡市と福島県いわき市における介護実技研修の学習並びに先進施設の視察研修を行いました。

そこで今月号で、研修内容のレポートと研修事後活動をご紹介します。

私達は、このたび、「まちづくり研修事業」を活用し、岩手県盛岡市で行われました介護実技研修と福島県いわき市内に開設されております介護福祉施設を視察しましたので、報告いたします。

介護実技研修に参加し 新しい介護技術の習得

「介護技術・ステップアップ研修」
日程 平成19年9月23日・24日
場所 ユートランド姫神研修室
（岩手県盛岡市）

全国で介護実技研修を展開し、施設アドバイザーとしても活躍をされている、RX組（代表 青山幸広氏）の介護方法は、利用者の残存機能を利用し介護者の腰痛を防ぐ方法として注目されています。



寝返り介助の実技研修

RX組の実技研修は、平成18年8月に南富良野町でも開催されるなど、各地で研修が開催されています。今回、私達が参加した実技研修会には、数年来RX組青山流の実技研修を受けて、それぞれの現場で実際に技術を活用されてい

その移動介助に要する時間もかなりかかることになるのです。ですから施設の設備は介護する職員にとっては道具と同様に使いこなすものとして考える必要があると改めて考えさせられました。

社会福祉法人飛鳥

特別養護老人ホームはなまる共和国（福島県いわき市）

2カ所目の視察先であります「特別養護老人ホーム はなまる共和国」もユニット型の施設で開設から3年目ということでした。

施設内の廊下の飾り付けや各ユニットのリビングの飾りは季節の花々や手作りのものを家庭的に配置してあり、施設全体から職員の間が感じられました。利用者との個室の家具類はすべて持参が原則で、利用者の希望や身体状況に応じて個性的に配置されていました。ここでは主に施設スタッフのシフトや勤務形態などをお聞きし、入浴時間のとり方、外出援助の方法などを伺いました。時間が少なかったため細かいところまでは確認できませんでしたが、いただいた勤務表を参考に私達の施設にあった改善策を皆と一緒に検討していきたいと思っています。



特別養護老人ホームパライソごしき

る参加者も多く、道内での研修に比べて非常にレベルの高い実技研修が行われていました。今まで、起き上がり、立ち上がり、移乗介護など数々の介助方法を学んできましたが、単に動きを学んでいたに過ぎないことを実感しました。今回は、一つひとつの介助場面でのポイント、重心移動のタイミング、両足のポジションニング、上肢の使い方など細部にわたって研修し、介助方法を再確認をすることができました。

青山先生の実技研修は1回参加をすれば覚えられるというものはなく、一つひとつの技術を学びそれを実践し、実践が不十分な部分を再度研修会に参加して学んでいく、そして一つひとつの技術を高めていく、ある意味修行に近いものを感じてきました。

実際に研修を受けても現場での活用は困難な場面が多いと日頃感じていましたが、それは技術が十分に身に付いていない者の言い訳でしかなかったのかと反省をしています。

今回は寝返り、起き上がり、移乗介助が主体でしたが、今後は入浴介助の実技研修会にも参加し、介護技術の更なる向上を目指していきたいと思っています。



利用者が持参した家具類が配置された居室

終わりに

今回の技術研修と施設視察研修では、今まで道内で参加してきた研修とは技術も、施設レベルが違いすぎて、実際何をどこから変えていけるのか、まだ想定ができません。しかし、今現在介護を仕事としている方や自宅でご家族を介護されている方に、力で行う介護ではなく、技術で行う介護があることを伝えていきたいと思えます。そして将来的には、南富良野にはいい介護がある、いい福祉があると言われるように福祉に携わる関係職種、関係機関と連携を取り福祉のまちづくりに寄与していきたいと思っています。本当にありがとうございました。



起き上がり介助の実技研修

先進施設を視察し 被援助者の介護の 実際とその応用に学ぶ

日程 平成19年9月25日

社会福祉法人五彩会（ごしきかい）
特別養護老人ホームパライソごしき（福島県いわき市）

1カ所目の視察先であります「特別養護老人ホーム パライソごしき」は、定員100床のユニット型で、結婚式場も経営をしている五彩会という法人が、平成18年に開設した新しい施設です。外観も施設内もホテルのような施設で、ここは建築段階からRX組がアドバイザーとして関わっています。豪華できれいと言っただけではなく、ケースワーカーの働く動

事後活動報告

今回のまちづくり研修から帰町後、2回にわたり事後研修を開催しましたので、報告いたします。

南富良野高校介護実技研修
平成19年10月23日に、南富良野高校の1年生・3年生約50名を対象に開催しました。

「入浴介助方法について」
軽度の身体障害者の入浴介助方法について説明を行い、その後、実技指導として実際の浴槽を持ち込み、高校生による片手、片足麻痺の状態を作り浴槽への出入りなど入浴介助方法を学習していただきました。

介護実技研修

平成19年11月17日、特別養護老人ホーム一味園デイサービスホールにおいて、家庭で介護をされている家族3名を対象に開催しました。
「それぞれの介助のポイント」
被介護者の残存機能を利用し、介護者に負担の少ない介助方法について、毎日の生活で欠くことのできない基本的な寝返り、起き上がり、立ち上がり、移乗動作という動きについて実技体験を受けていただきました。